

Marimekko Spirit

エラマンタパ
—Elämäntapa マリメッコの暮らしぶり—

展覧会期：2017年12月15日（金）～2018年2月28日（水）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ギャラリーエークウッドでは、2017年12月15日から2018年2月28日まで、マリメッコ・スピリッツ—Elämäntapa (エラマンタパ)マリメッコの暮らしぶり—を開催いたします。

フィンランドを代表するブランド『マリメッコ (Marimekko)』は、1951年にアルミ・ラティア (Armi Ratia) により創設されました。社名の『マリメッコ』は「マリーのためのドレス」という意味です。当時のフィンランドは第二次世界大戦で国土と経済は荒廃し、国民の生活は困難を極めていました。まだ、女性の起業家も少ない時代でしたが、彼女は、そのような状況を打開すべく、生活をデザインの力で豊かにしたいという想いで『マリメッコ』を始めたことは意外と知られていません。彼女は、「マリキュラ」(Marikylä)と名付けられた芸術村を構想し、工場や従業員の住宅を計画しました。その中で人々は生活し、生きる糧を得るために『マリメッコ』をデザインし、生産しました。創業当初からデザインを担当したマイヤ・イソラ (Maija Isola) は、極めてカラフルなデザインを提案し、フィンランドという北欧の文化風土にショックにも近い印象を残しました。どちらかという、自然豊かな優しいアースカラーのデザインが主体だったフィンランドにとって180度の転換といえます。デザインのモチーフは彼らを取り巻く自然の中の「かたち」からヒントを得たものが多いのも特徴といえます。その表現やモチーフは、自然をリソースにした日本のデザインと共通するものがあるのではないかと思います。マイヤ・イソラの活躍の後、ヴォッコ・エスコリン-ヌルメスニエミ (Vuokko Eskolin-Nurmesniemi) 等、多くのデザイナーが育っていきますが、その中には日本人デザイナーのフジオ・イシモト (石本藤雄) の存在もありました。

また、フィンランドにはサウナというライフスタイルに欠かせない文化があります。健康に一生を過ごすための生活習慣ですが、人と人が裸になり対等に向き合える空間は、しばしば外交の舞台としても使われています。日本の茶の湯の歴史を紐解くと、「淋汗茶の湯」というおもてなしがあり、茶事の前に身体を清めていただくという作法がありました。その当時の風呂は、お湯につかるというスタイルではなく、湯気を浴びるといふサウナに近いスタイルであったようです。茶室は亭主と客とが直に心を通い合わせ、「おもてなしの心」や「侘び」「さび」文化を感じるいわば日本の美学が凝縮された場所ともいえます。今回の展覧会では、日本発の茶室文化とマリメッコのデザインを向かい合わせてみたいと思います。マリメッコデザインの持つ、「パターン」、「カラー」、「かたち」と日本の茶室空間を掛け合わせる試みです。

マリメッコは、フィンランド人のみならず、世界中の人々に支持され、布地だけでなくグラスウェアあるいは家具などに活動範囲を広げてきました。それは単に身に付けるファッションアイテムという枠を超えて、真に生活を豊かにするデザインの力を信じ追及したアルミ・ラティアの志にあったことと思います。今回の展覧会を通じて、彼らが目指した「理想の住まいの在り方」やデザインの力を再確認し、未来に求められるデザインとは何かを考える機会になればと思います。

この機会に是非ご来場くださいますよう、ご案内申し上げます。また、貴紙誌にてぜひ記事としてお採り上げいただきたく、宜しく願い申し上げます。



2017年11月
公益財団法人
ギャラリーエークウッド



■企画概要

エラマンタパ
展覧会名：マリメッコ・スピリッツーElämäntapa マリメッコの暮らしぶり
会期：2017年12月15日（金）～2018年2月28日（水）
会場：GALLERY A4（ギャラリーエークウッド） 〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1
開館時間：10：00～18：00（最終日は17：00まで）
休館日：日曜・祝日（12/28～1/4は年末年始休暇）
入館料：無料
主催：公益財団法人ギャラリーエークウッド
特別協力：マリメッコ
企画協力：S2 株式会社
協力：公益財団法人 官休庵
株式会社 六角屋（会場企画/デザイン協力）
フィンランドサウナクラブ、スカイスパYOKOHAMA
コトリフィルム、遠州流茶道
後援：フィンランド大使館、フィンランドセンター
お問合せ：ギャラリーエークウッド事務局 03-6660-6011
E-mail：gallery@a-quad.jp GALLERY A4 公式サイト：http://www.a-quad.jp

■展示概要

- ・マリメッコの精神と歴史紹介
- ・マリメッコ監修のお茶室とサウナのインスタレーション

■関連イベント

エラマンタパ
■トークショー「Elämäntapa マリメッコの暮らしぶり」
日時：2017年12月18日（月）18：30～20：00 参加費：無料
講師：Minna Kemell-Kutvonen（生活雑貨・プリントデザインディレクター）
Sami Ruotsalainen（デザイナー、プロダクト開発）
マリメッコを代表するお二人に、マリメッコの精神とは何か、マリメッコが提案するライフスタイルについて語っていただきます。

■Ateneum Live in Japan「響きあうデザインの力」
日時：2018年1月26日（金）18：30～20：00 参加費：無料
講師：スサンナ・ペッテルソン（フィンランド国立アテネウム美術館館長）
皆川明（デザイナー/ミナペルホネン）
特別協賛：株式会社モリサワ

■遠州流茶道小堀宗翔さんによるマリメッコお茶会
日時：2018年2月9日（金）18：00～19：30 参加費：1000円
講師：小堀宗翔（遠州流茶道）

■トークショー「サウナとお茶室の出会い、淋汗茶の湯の愉しみ」
日時：2018年2月23日（金）18：30～20：00 参加費：無料
講師：糸井重里（コピーライター、「ほぼ日刊イトイ新聞」主宰）
池田晶紀（写真家、フィンランドサウナクラブ会員）、三浦史朗（構匠、三角屋）
サウナ愛好家の池田さんを中心に、糸井重里さん、三浦史朗さんがサウナとお茶室の出会い、マリメッコスピリッツと日本文化との出会いを通して、淋汗茶の湯の愉しみについて語っていただきます。

■マリメッコ見立てのお茶室でお茶会をしませんか？
今回会場に登場するマリメッコ茶室でお茶会をして下さる方を公募します。

日時①：2018年1月20日（土）10：00～12：00
日時②：2018年2月17日（土）10：00～12：00

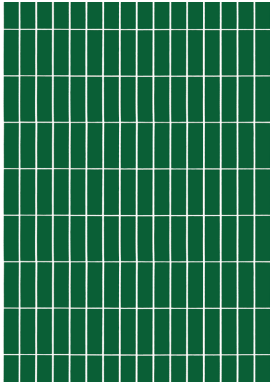
*お茶室とマリメッコのお道具を無料でお貸しします。自由なお見立てでお茶会を組み立ててください。
お茶会に関する実費はご負担ください。若い世代の方々へぜひ広めていただければと思っております。
応募者多数の場合は抽選します。

*上記イベントはギャラリーエークウッド公式サイトの申し込みフォームよりお申し込みください。
その他、ワークショップなどについては、詳細が決まり次第、公式サイトでお知らせいたします。
→公式サイト <http://www.a-quad.jp>

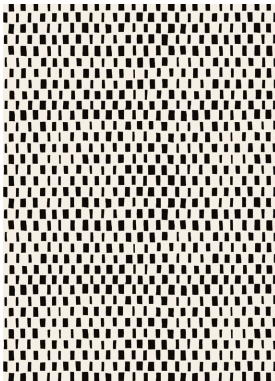


■同時開催 : ギンザ・グラフィック・ギャラリー第 363 回企画展
マリメッコ・スピリッツ・パーヴォ・ハロネン／マイヤ・ロウエカリ／アイノ＝マイヤ・メッツォラ
会期 : 2017年11月15日(水)～1月13日(土)
会場 : ギンザ・グラフィック・ギャラリー(ggg)
東京都中央区銀座7-7-2 DNP 銀座ビル 1F / B1
開館時間 : 11:00-19:00
休館 : 日曜・祝日・12月28日(木)～1月4日(木)
入場料 : 無料 <http://www.dnp.co.jp/gallery/ggg/>

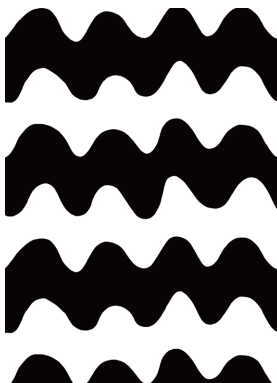
■広報用画像



a.
Tiiliskivi(ティイリスキヴィ)／煉瓦／1952
デザイナー:Armi Ratia アルミ・ラティア



b.
Iso Noppa(ノツパ)／サイコロ／1954
デザイナー:Vuokko Eskolin-Nurmesniemi ヴォッコ・エスコリン - ヌルメスニエミ



c.
Lokki(ロッキ)／カモメ／1961
デザイナー: Maija Isola マイヤ・イソラ